

第9次氷見市総合計画前期基本計画「到達目標（K G I）と 「達成目標（K P I）」の検証について

1 到達目標（K G I）と達成目標（K P I）の検証の概要

第9次氷見市総合計画前期基本計画の指標の実績について、次のとおり分類します。

①目標達成に向けて進捗しているもの（令和6年度実績が基準値より進捗）

◎：令和6年度時点で前期基本計画で設定した目標を達成しているもの

○：令和6年度時点で目標を達成していないが、基準値に比べ改善等がみられるもの

②基準値からの進捗が見られないもの（令和5年度実績が基準値を下回っている）

△：令和6年度時点で令和5年度実績からの改善がみられるものの、基準値を下回っているもの

×：令和6年度時点で令和5年度実績及び基準値からの改善がみられないもの

③その他（数値の把握ができていないもの等）

（1）「到達目標（K G I）」（13指標）

区分	Ⅰ住みたい街		Ⅱ働きたい街		Ⅲ育てたい街		Ⅳ市民とともにつくる 持続可能なまち	計	
①目標達成に向けて進捗しているもの	0	指標	3	指標	0	指標	0	3	23%
②基準値からの進捗が見られないもの	5	指標	2	指標	3	指標	0	10	77%
③その他	0	指標	0	指標	0	指標	0	0	0%
合計	5	指標	5	指標	3	指標	0	13	100%

（2）「達成目標（K P I）」（163指標）

区分	Ⅰ住みたい街		Ⅱ働きたい街		Ⅲ育てたい街		Ⅳ市民とともにつくる 持続可能なまち	計	
①目標達成に向けて進捗しているもの	46	指標	33	指標	33	指標	13	125	76%
②基準値からの進捗が見られないもの	11	指標	14	指標	8	指標	4	37	23%
③その他	0	指標	0	指標	0	指標	1	1	1%
合計	57	指標	47	指標	41	指標	18	163	100%

2 各基本目標における到達目標（KGI）及び達成目標（KPI）の検証

（１）基本目標１ 住みたいまち

①到達目標（KGI）

到達目標（KGI）	基準値		R8目標値	R5実績値	R6実績値	傾向	進捗
①住みたいと思う市民の割合	79.4%	(R2)	85.0%	80.0%	66.1%		×
②人口社会増減率	△ 0.66%	(R2)	△ 0.31%	△0.48%	△0.85%		×
③若者（１５歳～３９歳）の転出超過数	1,109人	(H28～R2)	436人	163人	246人		×
④健康寿命（男性）※１	79.83歳	(H30)	対前年度比増	79.36歳	79.30歳		×
⑤健康寿命（女性）※１	85.22歳	(H30)	対前年度比増	84.33歳	83.90歳		×

※１ 令和６年度実績値は、厚生労働省研究班が公表している「健康寿命の算定方法の指針：健康寿命の算定プログラム」を使用した「Ｒ４（令和７年３月算定）」の数値

到達目標（KGI）	要因分析
①住みたいと思う市民の割合	前年度の８０．０％に比べ１３．９％減少は、能登半島地震による影響によるものと考えられる。
②人口社会増減率	前年度の０．４８％の減少に比べ０．３７ポイントの減となっており、若者の転出超過が増加したことや能登半島地震の影響による。
③若者（１５歳～３９歳）の転出超過数	Ｕターン者や移住者等による転入者が一定数あったものの、転出に歯止めがかかっていない状況による。
④⑤健康寿命	要介護２以上の認定者の増等による。

2 各基本目標における到達目標（K G I）及び達成目標（K P I）の検証

②達成目標（K P I）【改善がみられないもの 7 指標】

達成目標（KPI）	基準値		R8目標値	R6実績値	要因分析
①消防団員数	726人	(R2)	750人	685人	人口減少や高齢化の進行により、人員の確保が困難であることによる。
②住民主体の通いの場の実施箇所数	94箇所	(R2)	100箇所	91箇所	新規開始したグループがある一方で、新規参加者が見込めず活動を終了したグループがあることによる。
③市内医療機関の数	48医療機関	(R2)	47医療機関	45医療機関	医師の高齢化等の理由により、2 医療機関が廃院となったことによる。
④生活保護世帯から自立した世帯数	3世帯	(R2)	3世帯	1世帯	就労支援を行ったものの、本人の疾病等により就労まで至らなかったことによる。
⑤景観重点地区の設定数	0地区	(R2)	2地区	0地区	能登半島地震からの復旧・復興を優先し、指定が遅れていることによる。
⑥氷見市ボランティア総合センターに登録した件数（個人及び団体数）	498件	(R2)	528件	469件	能登半島地震により、震災前まで実施していたボランティア活動の継続が難しくなったことによる。
⑦氷見市 I J U 応援センターを通じた移住者数	16人	(R2)	40人	15人	能登半島地震の影響により、移住者が求める賃貸物件が少ないことによる。

2 各基本目標における到達目標（KGI）及び達成目標（KPI）の検証

（2）基本目標2 働きたいまち

①到達目標（KGI）

到達目標（KGI）	基準値		R8目標値	R5実績値	R6実績値	傾向	進捗
①納税義務者1人当たり所得	266万円	(R2)	275万円	247万円	243万円		×
②雇用保険適用事業所の被保険者数	8,558人	(R2)	9,000人	8,681人	8,528人		×
③新規求人数	3,209人	(R2)	5,000人	3,539人	3,264人		○
④新規求人数（フルタイムのみ）	1,611人	(R2)	2,600人	1,966人	1,849人		○
⑤観光消費額	110億円	(R2)	200億円	251億円	310億円		◎

到達目標（KGI）	要因分析
①納税義務者1人当たり所得	主に給与所得の減少により、合計所得額の減少が大きかったことによる。
②雇用保険適用事業所の被保険者数	生産年齢人口の減による。
③新規求人数	原材料費や燃料費の高騰などから経営が厳しく、人手不足であっても現在の従業員で乗り切るため、求人募集を抑える事業所が見受けられたことによる。
④新規求人数（フルタイムのみ）	
⑤観光消費額	観光入込客数の増加により観光客の消費喚起が促進されたことに加え、能登半島地震による復興作業員が市内に長期滞在したことや、県外からの宿泊客が増加したことによる。

2 各基本目標における到達目標（K G I）及び達成目標（K P I）の検証

②達成目標（K P I）【改善がみられないもの 10指標】

達成目標（KPI）	基準値		R8目標値	R6実績値	要因分析
①日頃から氷見市の産品を積極的に買っている市民の割合	61.5%	(R2)	65.0%	47.8%	市内直売所の閉店や、買い物の選択肢の幅が大きくなっていることによる。
②地域ブランド調査の魅力度順位	163位	(R2)	対前年比上昇 位	176位	調査項目のうち、居注意欲度や訪問率が下がっていることから、能登半島地震の影響と考えられる。
③氷見牛などの飼育頭数	673頭	(R2)	800頭	614頭	事業者の子牛の導入計画の先送りや飼料高騰による氷見牛の生産調整の実施による。
④エコファーマー数	33人	(R2)	36人	17人	県の「エコファーマー認定制度」が令和5年度から新制度に移行したことにより、新規認定者がいなかったことによる。
⑤種苗放流魚種の漁獲量（クルマエビの漁獲量）	100,000匹	(R2)	100,000匹	83,000匹	能登半島地震により、クルマエビを大幅に減産したため、稚魚が確保できなかったことによる。
⑥創業件数（事業承継も含む）	7件	(R2)	12件	6件	能登半島地震の影響により、創業を延期する傾向による。
⑦まちなかへの出店件数	4件	(R2)	6件	3件	能登半島地震の影響により、既存物件の公費解体が進み、活用できる空き店舗等が減少したことによる。
⑧まちなかでの住宅取得に対する補助件数	25件	(R2)	30件	9件	能登半島地震の影響により、住宅工事の中断や工期延長が生じたほか、転入者数の減少による住宅取得数が減少したことによる。
⑨雇用充足数	497件	(R2)	700件	447件	高齢者を除いて全体的に市外の事業所に応募し就職する傾向が高まっていることによる。
⑩市内事業所における創工ネ設備導入時の補助金申請件数	0件	(R2)	4件	0件	能登半島地震からの復旧が優先され、新たに再工ネ導入に踏み切る事業者がいなかったことによる。

2 各基本目標における到達目標（K G I）及び達成目標（K P I）の検証

（3）基本目標3 育てたいまち

①到達目標（K G I）

到達目標（KGI）	基準値	R8目標値	R5実績値	R6実績値	傾向	進捗
①婚姻数	137件（R元）	150件	94件	93件		×
②出生数	206人（R2）	230人	145人	169人		△
③子ども女性比	0.1690（R2）	0.2090	0.1600	0.1682		△

到達目標（KGI）	要因分析
①婚姻数	新型コロナウイルス感染拡大の影響によって、人との交流機会の減少傾向が高まり、社会様式が変化したことによる。
②出生数	
③子ども女性比	

2 各基本目標における到達目標（K G I）及び達成目標（K P I）の検証

②達成目標（K P I）【改善がみられないもの 5 指標】

達成目標（KPI）	基準値		R8目標値	R6実績値	要因分析
①乳幼児健康診査受診率（1歳6か月児）	99.5%	(R2)	100.0%	99.3%	保護者の体調不良による未受診者 1 名が生じたことによる。
②乳幼児健康診査受診率（3歳児）	99.6%	(R2)	100.0%	99.5%	外国に滞在中に伴う未受診 1 名が生じたことによる。
③「氷見市が好きですか」に「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた人の割合	83.4%	(R2)	85.0%	76.4%	能登半島地震の影響によるものと考えられる。
④市指定文化財の件数	51件	(R2)	55件	51件	能登半島地震の影響により、既存の文化財の点検等に重点を置いたことによる。
⑤男女の地位の平等感を感じている市民の割合（職場）	29.9%	(R2)	40.0%	29.7%	依然として性別による固定的な役割分担意識が職場に残っていることなどによるものと考えられる。

2 各基本目標における到達目標（K G I）及び達成目標（K P I）の検証

（４）基本目標４ 市民とともにつくる持続可能なまち

①達成目標（K P I）【改善がみられないもの 3指標】

達成目標（KPI）	基準値		R8目標値	R6実績値	要因分析
①各種市民アンケートの回答率	46.2%	(R2)	50.0%	32.6%	例年よりもアンケート質問項目の数が増えたことや、実施時期が年度末から年度初めにまたがり、転居の時期と重なったことによる。
②ホームページの総閲覧件数	2,231,570 件	(R2)	2,450,000件	1,494,632件	能登半島地震の震災以降、被災者支援情報の閲覧を必要としない方が増えたことや、情報取得方法の多様化が進んだことによる。
③自己啓発活動及び通信教育の受講による自主的な研修の受講を完了した職員数	25人	(R2)	40人	5人	能登半島地震以降、継続的に時間外勤務が多いことで、自主的な活動や受講の時間の確保が困難になったことによるもの。